

科目名	日本事情	英語科目名	Japanese Culture and Society	
開講年度・学期	平成28年度・通年	対象学科・専攻・学年	3年・留学生	
授業形態	講義	必修 or 選択	必修	
単位数	3単位	単位種類	履修単位	
担当教員	多田哲久（非常勤講師）	居室（もしくは所属）	非常勤講師控室	
電話		E-mail		
授業の到達目標	授業の到達目標との対応			
		小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準
	1. 日本の社会・文化の基礎的知識を説明できる。	⑥		
	2. 日本の社会・文化と自国の社会・文化の異同を説明できる。	⑥		
3. 社会・文化の問題点や解決策について、自分なりの意見を言える。	⑥			
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
1～3について、前期中間試験、前期期末試験、後期中間試験、後期期末試験、課題、受講態度によって評価する。				
評価方法				
前期中間試験・前期期末試験・後期中間試験・後期期末試験の平均点60%、課題20%、受講態度20%で評価し、合計が60%以上のものを合格とする。				
授業内容		授業内容		
1. 第1課「住宅事情」1		16. 第8課「日本的経営」1		
2. 第1課「住宅事情」2		17. 第8課「日本的経営」2		
3. 第2課「結婚と女性の社会進出」1		18. 第9課「日本人の労働観」1		
4. 第2課「結婚と女性の社会進出」2		19. 第9課「日本人の労働観」2		
5. 第3課「高齢化社会」1		20. 第10課「集団意識と肩書き」		
6. 第3課「高齢化社会」2		21. 第11課「社会保障と社会参加活動」1		
7. 第4課「日本料理」1		22. 第11課「社会保障と社会参加活動」2		
8. 前期中間試験		23. 後期中間試験		
9. 第4課「日本料理」2		24. 第12課「年中行事」1		
10. 第5課「平等社会と中流意識」1		25. 第12課「年中行事」2		
11. 第5課「平等社会と中流意識」2		26. 第13課「政治のしくみ」1		
12. 第6課「教育」1		27. 第13課「政治のしくみ」2		
13. 第6課「教育」2		28. 第14課「日本の歴史1」1		
14. 第7課「伝統芸能」1		29. 第14課「日本の歴史1」2		
15. 第7課「伝統芸能」2		30. 第15課「日本の歴史2」		
キーワード	日本、社会、文化、現代、伝統、比較			
教科書	日鉄ヒューマンデベロプメント・日本外国語専門学校、2001、『日本を話そう——15のテーマで学ぶ日本事情 [第3版]』The Japan Times。			
参考書				
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目				
現学年の関連科目	日本語			
次年度以降の関連科目				
連絡事項				
授業では、同一のトピックを2回にわけて行ないます。1回目は教科書中心、2回目は発表中心になります。課題は、発表のほか、適宜課します。教科書に加えて、映像や写真、新聞記事や雑誌なども多用し、日本事情を説明していきます。積極的に授業に取り組みましょう。				
シラバス作成年月日	平成28年3月3日作成			